

2022. 4. 5. (火) 14:00~16:30 宮前市民館・視聴覚室

市民が頼れる図書館にするには～川崎市の図書館の、いまと明日を考える～

「民営化によって図書館は発展するのか」 講師：森下芳則氏

(日本図書館協会 図書館政策企画委員会委員長, 元田原市図書館館長)

報告：川崎市の図書館の現状と課題 (川崎の文化と図書館を発展させる会 岡本正子)

オンライン参加も可！(申し込みは裏面参照)

主催：川崎の文化と図書館を発展させる会

共催：現宮前区役所を存続し、鷺沼駅前再開発を考える会

■川崎市の市民館、図書館行政の今！

- ・2019.3 鷺沼駅前再開発に伴い現宮前区役所・市民館・図書館の移転を決定
- ・2020.8 「新しい宮前市民館・図書館基本計画」策定
- ・2021.3 「今後の市民館・図書館のあり方」策定
- ・2022.1 「市民館・図書館の管理・運営の考え方中間とりまとめ」を発表。5月最終案、パブコメを経て8月策定

この間「新しい宮前市民館・図書館基本計画」や「今後の市民館・図書館のあり方」のパブコメでの1000件を超える意見、陳情・請願も含め図書館の増設や発展を願う市民の声はあとをたちません。1万名を超える署名とともに出された宮前区役所・市民館・図書館移転反対の陳情は却下されました。

「今後の市民館・図書館のあり方」、今回の「管理・運営の考え方中間とりまとめ」を合わせ見てみると、指定管理者制度導入や業務委託の拡充などの民間活力のさらなる検討がうたわれています。

本当にこれで市民のための図書館が発展するのでしょうか？

1 月末「市民館・図書館の管理・運営の考え方中間とりまとめ」議会通過 5月最終案を経てパブコメへ その問題点は？

- ① 川崎市は2004年から貸出・返却などの業務を民間に委託しました。人件費削減のため、正規職員の数を減らし民間に業務委託していますが、市民からはこういう本はどこにあるのといった簡単なことも応えてくれないと不満が出ています。市は結果を検証したのでしょうか。
- ② この中間報告ではさらなる業務委託や指定管理などの民間活用を進めることがより鮮明に！
その理由は★「市職員のマンパワーを補完し、市職員が企画や新たな取り組みに一層注力する……」ため ★「民間の力によりサービス向上ができる部分をしっかり切り分ける」等です。
業務委託にすると、委託された仕事が図書館全体の中で切り分けられ、委託職員は正規職員と一緒に図書館全体のサービス向上を考えられない、指示された仕事をするのみです。
また、指定管理となると、図書館サービスそのものを民間業者にまかせることとなります。
では、図書館が目指すサービスとはなんのでしょうか？本来行政が責任を持つべき図書館サービスを、委託業者に仕様書で指示するだけで出来るのでしょうか？利用者の声は届くのでしょうか？
- ③ 市民館と図書館の専門性は違います。それを一緒にしてよいのでしょうか？

日野市等の図書館経験を経て田原市図書館の開館準備から携わった森下芳則さんに、なぜ市民に図書館が必要か、図書館は私たちにとってどういう存在か、なぜ指定管理や民間委託ではなく直営で運営するべきなのかを、お話ししていただきます。

申し込みについて

募集定員 会場 40人 オンライン 50人 (定員になり次第締め切らせていただきます)

申込先 岡本 TEL 090-6153-9566 FAX 044-954-8931 メール kawabunnto@gmail.com

資料代 500円 会場参加の場合は、お申し込みの上、会場でお支払いください。

オンラインをご希望の方は、上記アドレスにお申し込みください。

資料代の振り込み先をお知らせします。

資料代の入金を確認後、招待メールを送らせていただきます。

お願い

会場では、マスク着用の上、検温など新型コロナ感染対策にご協力ください。

万が一、コロナ感染状況により会場での開催ができなくなった場合は、オンラインのみでの開催としますので、ご了承ください。

その場合、会場参加の方には、別途ご連絡いたします。

会場へのアクセス

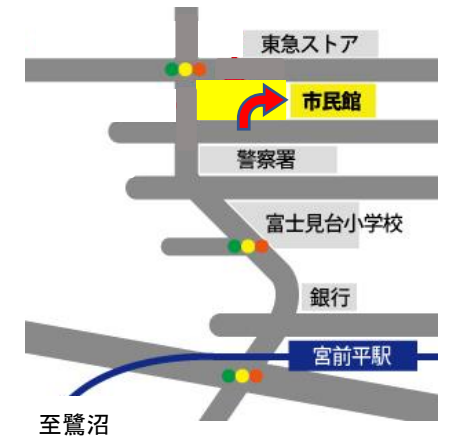
東急田園都市線

宮前平駅下車 徒歩 10分

東急バス (宮 02)(宮 06)

川崎市営バス(登 05)(城 11)

宮前区役所前下車



ひとくちメモ

宮前区に二つ目の図書館を！

文科省の定める「望ましい基準」では、人口 96 万人に 17, 5 館の図書館を必要としています。

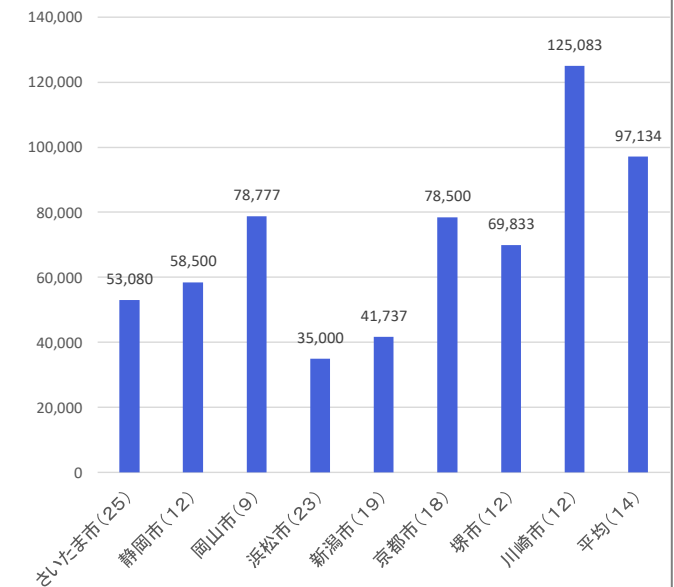
川崎市は人口 153 万人に対し、図書館は閲覧所を入れて 13 館、宮前区 23,4 万人には 1 館しかありません。現宮前図書館を鷺沼駅前に移転すれば、今まで図書館を使っていた子どもたちが日常使うのは難しくなります。しかし、現宮前図書館に来られない子どもたち、利用者のためには、現図書館だけでは足りません。本来は、だれでもどこに住んでいても同じように身近に使えるところに図書館があってほしいのです。

右のグラフは、政令指定都市の中で一人当たりの図書館の貸出冊数(貸出密度)が多い 7 都市と川崎市の比較です。貸出密度の高い都市は、人口に対する図書館数が多い。川崎市は 20 都市の平均に比べても図書館数が少なく、1 館当たり 12 万 5 千人にもなることがわかります。

2022. 2. 22. 発行 川崎の文化と図書館を発展させる会 作成パンフレット

「図書館政策への提言 私たちが考える川崎市の図書館～市民が頼れる図書館へ～」より

グラフ1 図書館一館当たりのサービス人口



貸出密度上位 7 都市・政令指定都市平均と川崎市

()の数値は図書館数 『日本の図書館 2020』のデータより作成。